



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年8月14日

上場会社名 ワシントンホテル株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4691 URL <https://www.washingtonhotel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 太
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部部长 (氏名) 津尾 則文 (TEL) 052(745)9036
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,049	23.5	1,043	201.0	892	275.7	883	285.2
2025年3月期第1四半期	4,897	10.2	346	△27.6	237	△39.6	229	△39.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	73.47	—
2025年3月期第1四半期	19.02	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	33,487	10,143	30.3
2025年3月期	33,545	9,446	28.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 10,143百万円 2025年3月期 9,446百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—				
2026年3月期(予想)		0.00	—	26.00	26.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,500	10.1	3,050	36.1	2,460	40.2	2,420	20.1	201.11

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は【添付資料】7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	12,170,000株	2025年3月期	12,170,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期1Q	144,103株	2025年3月期	144,103株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2026年3月期1Q	12,025,897株	2025年3月期1Q	12,058,150株
------------	-------------	------------	-------------

(注) 2026年3月期1Qの期末自己株式数及び期中平均株式数 (四半期累計) の算定に当たり控除する自己株式数には、役員向け株式給付信託の信託財産として株式会社日本カストディ銀行 (信託口) が所有する当社株式99,200株を含めております。

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、決算短信添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善もあり、景気は緩やかに回復しております。一方で、米国の関税政策の動向や、エネルギー及び原材料価格が高止まりしている状況については十分注意する必要があります。

ホテル業界におきましては、大阪・関西万博の開催に伴う好影響もあり、国内レジャー及びインバウンドの需要が引き続き堅調に推移いたしました。

このような環境下、4月に『睡眠・入浴・朝食』にこだわった全館リニューアルが完了した「ワシントンR&Bホテル梅田東」と「ワシントンR&Bホテル京都駅八条口」においては、ツインルームやコネクティングルームを新設し、インバウンドやファミリーなど幅広い顧客層への対応が可能となりました。また、ワシントンR&Bホテル梅田東では、「エアウィーヴ」に加えて、新たに西川「Air（エア）」のマットレスを導入し、お好みでお選びいただけるようにしたほか、ワシントンR&Bホテル京都駅八条口では、一部の客室に洗浄力と保湿力を両立させた「Refa（リファ）」のシャワーヘッドとドライヤーを設置した部屋を販売するなど、新たな試みを始めております。なお、今期の全館リニューアルは、ワシントンR&Bホテル3事業所を計画しており「名古屋栄東」及び「新横浜駅前」は5月、「札幌北3西2」は9月に着手し、引き続き商品力の向上に努めてまいります。

販売促進においては、国内外の旅行代理店への営業を継続強化したほか、海外の旅行博覧会や自治体が主催するインバウンド商談会に積極的に参加しました。加えて、WebやSNSを活用した広告やSEO対策によるデジタルマーケティングの強化に引き続き取り組んでおります。また、宿泊予約サイト「ワシントンネット」においては、予約受付期間を1年先まで延長することで他OTAとの差別化を図りました。さらに、飲食店舗では、季節の食材を使用した商品やインバウンドを意識した宿泊者向けメニューを開発・販売することで集客力の向上に努めました。

なお、当第1四半期累計期間の客室販売は、万博開催による集客効果で関西地区が好調に推移したこともあり、客室稼働率が前年同期比6.7ポイント増加の72.0%となりました（注1）。また、ADR（平均客室販売単価）は、前年同期比14.1%増加の8,542円となり、RevPAR（販売可能な客室1室あたりの売上）は前年同期比で25.8%上昇しました。外国人宿泊比率についても、リニューアルを終えたホテルでの増加や、一部ホテルにおける海外からのゴルフパック利用の拡大などにより、前年同期比3.4ポイント増加の11.0%となりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高6,049,350千円（前年同期比23.5%増）、営業利益1,043,368千円（前年同期比201.0%増）、経常利益892,972千円（前年同期比275.7%増）、四半期純利益883,495千円（前年同期比285.2%増）となりました。

なお、当社はホテル事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

注1. 客室稼働率・RevPARは、全館リニューアルによる販売不能客室を控除した上で算出しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ57,685千円減少の33,487,864千円となりました。これは主に建設仮勘定が216,141千円減少し、前払費用が93,947千円、建物（純額）が56,565千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ754,597千円減少の23,344,069千円となりました。これは主に未払金が405,151千円、長期借入金が250,000千円、未払費用が82,783千円減少し、流動負債その他が98,055千円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ696,911千円増加の10,143,794千円となりました。これは主に利益剰余金が640,993千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想など将来予測情報に関する説明においては、本日（2025年8月14日付）発表しております「通期業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」に記載したとおりです。

2026年3月期 通期業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 22,900	百万円 2,640	百万円 2,040	百万円 2,010	円銭 166.97
今回発表予想（B）	23,500	3,050	2,460	2,420	201.11
増減額（B－A）	600	410	420	410	－
増減率（%）	2.6	15.5	20.6	20.4	－
（参考）前期実績 （2025年3月期）	21,347	2,240	1,755	2,015	167.13

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,966,495	5,997,417
売掛金	1,441,915	1,438,981
原材料及び貯蔵品	45,535	41,809
前払費用	521,823	615,771
その他	4,723	6,119
流動資産合計	7,980,492	8,100,098
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,257,449	9,314,015
工具、器具及び備品（純額）	245,531	238,959
土地	5,564,875	5,564,875
リース資産（純額）	4,051,111	4,003,966
建設仮勘定	359,798	143,656
その他（純額）	204,769	196,962
有形固定資産合計	19,683,537	19,462,436
無形固定資産		
電話加入権	21,047	21,047
ソフトウェア	121,394	118,718
その他	28,154	31,726
無形固定資産合計	170,596	171,492
投資その他の資産		
投資有価証券	358,316	411,096
長期貸付金	2,000	2,000
長期前払費用	121,217	130,313
繰延税金資産	768,579	747,820
差入保証金	4,442,481	4,446,306
その他	37,231	35,201
貸倒引当金	△18,900	△18,900
投資その他の資産合計	5,710,924	5,753,836
固定資産合計	25,565,058	25,387,766
資産合計	33,545,550	33,487,864

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,485	170,652
短期借入金	1,000,000	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
リース債務	155,231	156,390
未払金	1,419,694	1,014,543
未払費用	524,214	441,431
契約負債	59,878	67,499
未払法人税等	32,271	8,067
賞与引当金	136,494	80,578
その他	322,609	420,665
流動負債合計	4,798,879	4,359,828
固定負債		
長期借入金	13,613,000	13,363,000
リース債務	4,924,601	4,885,064
長期末払金	198,824	168,678
株式報酬引当金	58,567	62,368
再評価に係る繰延税金負債	432	432
資産除去債務	441,676	442,132
その他	62,685	62,565
固定負債合計	19,299,787	18,984,241
負債合計	24,098,667	23,344,069
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	4,307,624	4,307,624
利益剰余金	5,944,654	6,585,648
自己株式	△123,903	△100,006
株主資本合計	10,228,375	10,893,265
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	163,971	195,992
土地再評価差額金	△945,463	△945,463
評価・換算差額等合計	△781,491	△749,471
純資産合計	9,446,883	10,143,794
負債純資産合計	33,545,550	33,487,864

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	4,897,966	6,049,350
売上原価	4,340,144	4,798,019
売上総利益	557,821	1,251,331
販売費及び一般管理費	211,235	207,962
営業利益	346,586	1,043,368
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	7
受取手数料	1,894	2,326
受取保険金	1,281	288
その他	2,204	1,202
営業外収益合計	5,384	3,825
営業外費用		
支払利息	101,042	134,345
支払手数料	12,924	13,443
その他	325	6,433
営業外費用合計	114,291	154,222
経常利益	237,678	892,972
特別損失		
固定資産除却損	593	1,408
特別損失合計	593	1,408
税引前四半期純利益	237,085	891,563
法人税、住民税及び事業税	7,732	8,067
法人税等合計	7,732	8,067
四半期純利益	229,352	883,495

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

当社は、ホテル事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	266,847千円	295,257千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。